

「もっと知りたいアイヌの心」シリーズは、(一社)北海道開発技術センターが毎月開催していたアイヌ文化勉強会^{ふじむらひさかず}で、藤村久和



アイヌ神謡集と 映画「カムイのうた」

佐賀 彩美^(さが あやみ)

アイヌ語地名研究会

北海道出身。北海道大学法学部卒業。モンテレー国際大学院(現ミドルベリー国際大学院モンテレー校)通訳翻訳学科修士課程修了。北海道大学大学院農学院農学専攻博士後期課程修了。全国通訳案内士。

サケヘ(sakehe)と呼ばれる折節は、トーロロハンロク、ハンロク(toー 沼orー の中 orー の所 oー に hanー(音合わせの音)rokー 座っている

先生が話されていた内容に加えて、著者の感想等を他資料も参考にしてまとめさせていただいたものでした。大変悲しいことに、藤村先生は去る3月31日標津町にアットゥシ織の指導のため出張中急逝されました。先生は、アイヌ文化に通暁^{つうぎょう}しておりアイヌ語を流暢^{りゅうちやう}に話される数少ない方の一人でした。藤村先生を亡くすことは図書館が丸ごと1つ消えるようなものであり、残念でなりません。

本号では、藤村先生への追悼の意味で、昨年3月10日に上記勉強会の一環として、先生がされた『アイヌ神謡集』についての講演と先生がアイヌ語やアイヌ文化について監修された映画「カムイのうた」についてご紹介します。

『アイヌ神謡集』は、知里幸恵^{ちり ゆきえ}さんによって初めてローマ字化され日本語に翻訳されたカムイユーカラ(kamuyー神々の yukarー物語)を、幸恵さん自身が編さんしたものであり、「カムイのうた」は知里幸恵さんをモデルとして東川町により企画、制作されました。講演では、知里幸恵さんの子どもの頃のエピソードやその生い立ちなどについて紹介されるとともに、アイヌ神謡集のなかの「蛙^{かえる}が自らを歌った謡」の全文を先生が解説されました。原著のアイヌ語はローマ字のみの表記ですが、カナ表記を加え、さらにローマ字表記をハイフンで区切り、これに日本語訳を適宜付した原稿が参加者230名全員に配布され、先生のご説明はこの原稿を画面に映写して進められました。「蛙が自らを歌った謡」のアイヌ語タイトルは、テレケピヤイエユカル(terkeー跳ねる piーもの yayー自身(の失敗談) eーを yukarー物語る)であり、テレケピとは、物語の主人公であるカエル(アマガエル)のことです。

hanrokー(重複))となっています。川上さやかさんがお手本として謡った後、参加者も声を出して全員で練習しました。これはかつてない試みではなかったかと思われま。

「カムイのうた」は、去る5月10日札幌市市民交流プラザにおいて、(一社)北海道開発技術センターの主催で無料上映会が行われました。映画をご覧いただく前に、藤村先生の講演を予定していましたが、叶わないこととなったため、昨年の講演録画のダイジェスト版をご覧いただきました。この映画は、美しい映像とともに、アイヌ民族が受けた差別、墓荒らしの被害についても避けては描いています。大変優れた内容であり、多くの方に見ていただきたい映画ですが、上映期間が短かったこともあり見逃した方も多いたと考えて企画しました。映画は同じ内容で昼と夜2回上映しましたが、昼はほぼ満席で、夜の部と合わせて参加者は300名となりました。アンケートの結果では、全員に近い参加者から「大変満足」という評価をいただきました。また、映画を観たことにより「アイヌ文化をもっと知りたいと思う」というご感想も多かったです。差別や墓荒らしの問題についても、映画を観てはじめてその酷^{ひど}さを理解したという方も少なからずいました。人間は、単に文章を読んだり、聞いたりするだけでなく視覚に訴える方法で情報を得ることにより、物事を本当に理解することができるのだということを実感した次第です。東川町は映画のデータを無料で貸し出していますので、さらに多くの方々がこの映画を観られることを願っております。また、昨年の藤村先生のご講演の映像はYouTube(https://www.youtube.com/watch?v=wZpibZ65A_Y)でご覧いただけます。

.....

*本稿は、藤村久和先生に長年師事されていた花輪陽平氏に校閲いただき、筆者が取りまとめたものです。

故藤村 久和 氏 元北海学園大学名誉教授 北日本文化研究所代表 アイヌ語地名研究会会長
アイヌ学全般(精神文化・口承文芸・衣食住・民族医療(整体ほか)等)を研究領域とすると共に、アイヌの人々が自然を管理することなく、いかに共存してきたかについて、その思想や哲学を自ら学び・実践してきた。主な著書:『アイヌの霊の世界』(小学館、1982年)、『アイヌ、神々と生きる人々』(福武書店、1985年)、『アイヌ学の夜明け』(梅原猛氏との共編、小学館、1990年)、『アイヌのごはん』(監修、デーリマン社、2019年)、『平成20~令和6年度アイヌ民俗文化財調査報告書アイヌ民俗技術調査1~16』(北海道教育委員会、2008~2025年)等。